

水産物の市況について(令和2年12月及び令和3年1月)

—東京都中央卸売市場における令和2年12月(令和2年11月21日～令和2年12月20日集計)の市況と、
令和3年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや減少し、前年同月比でもやや減少しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比ではやや弱含みに推移しました。

II 令和3年1月の主要品目の市況見通し

- 「まいわし(生鮮品)」
産地の水揚げが減少しているため、入荷量は減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。
- 「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」
入荷量は、銀ざけ主体に横ばいと見込まれるものの、卸売価格は銀ざけの価格が下がっていることから、全体ではやや弱含みと見込まれます。
- 「さば(生鮮品)」
盛漁期を迎え、水揚げが増えてきたが例年より少なく、入荷量は横ばいと見込まれ、卸売価格はやや弱含みと見込まれます。
- 「するめいか(生鮮品・冷凍品)」
産地の水揚げが減少しているため、入荷量は減少すると見込まれ、卸売価格は強含みと見込まれます。
- 「あじ(生鮮品)」
入荷量は減少すると見込まれるものの、例年のこの時期より多く、卸売価格は横ばいと見込まれます。
- 「まぐろ(冷凍品)」
入荷量は、全体では最需要期の年末年始を過ぎたことからやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は、冷凍めばち・冷凍きはだの低価格品の引き合いが強く、全体では横ばいと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	31	1,191	32	1,116	30	1,111
前年	34	1,232	34	1,141	26	1,176

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	580	108	149	145
さけ・ます(平均)	852	97	89	83
(ぎんざけ塩蔵品)	744	93	80	76
(あきさけ塩蔵品)	804	99	96	107
(ときさけ塩蔵品)	1,263	96	85	93
(べにざけ塩蔵品)	1,195	97	76	86
(さけ類冷凍品)	839	98	94	85
さば(生鮮品)	425	93	110	99
するめいか(平均)	861	103	94	112
(生鮮品)	908	98	101	116
(冷凍品)	517	100	49	71
あじ(生鮮品)	487	98	74	89
まぐろ(冷凍品)	1,350	95	83	82
(めばち冷凍品)	1,020	101	92	87
(きはだ冷凍品)	924	93	94	88
(くろまぐろ冷凍品)	2,711	93	84	79
(みなみまぐろ冷凍品)	1,604	96	79	79

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:12月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山

直通 03-3591-5612